



中小企業・小規模事業者のよろず相談所



久住 武司 徳島県よろず支援拠点チーフコーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

1. はじめに

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に変更され、10月には税制面で大きな節目となるインボイス制度が導入されました。そのため、アフターコロナに向けて各種支援制度にも変化が出てきました。また、原油高、原材料費高、人手不足などの影響により、これまで以上に深刻な資金繰り相談が増えるなど相談内容にも数字では見えない変化が表れてきました。一方で、女性や、シニア層の男性による創業のご相談、商品開発・販路拡大のご相談も目立つようになってきました。

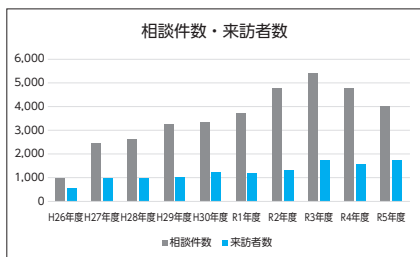
このように様々なご相談に、しっかりと対応させて頂くため、関係支援機関と連携しながら、18名の専門家と3名の推進員が全力で取り組みました。その概要についてご報告いたします。

2. 徳島県よろず支援拠点の活動状況について

1) 相談対応件数・来訪者数について

令和2年度に新型コロナウイルス感染症が始まってから4年目を迎え、令和3年度のピークを過ぎ、相談件数・来訪者数の数字上ではコロナ前の状態に戻っております。(図-1)

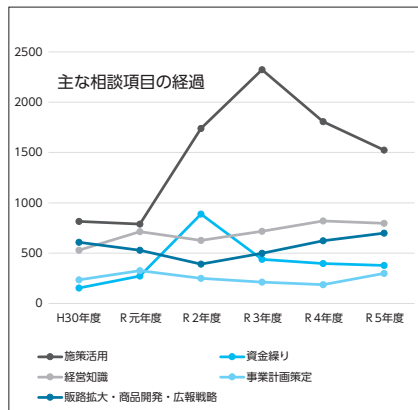
図-1 相談件数・来訪者数



主な相談内容(図-2)については、施策活用が一番多いものの、令和3年度をピークに大きく減少しております。次いで経営知識、販路拡大・商品開発・広報戦略、資金繰りの順になっておりますが、特に令和4年度に販路拡大関連の相談の件数が資金繰りに関する相談件数を上回り、その傾向が続いております。これは、5月以降はアフターコロナとして、積極的な事業展開に取り組む経営者や創業にチャレンジする方々が増えてきたものと

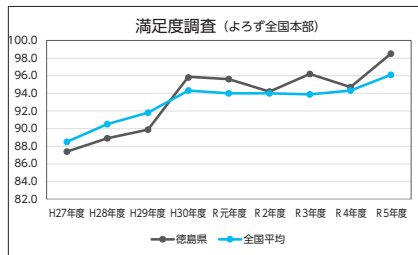
考えております。その一方で、資金繰り相談の内容は、より深刻化しており、ゼロゼロ融資の本格的な返済が始まった令和5年度は、この数字上には表れていない深刻な相談が増えており、今後さらに厳しい相談が増えることが予想されます。

(図-2)



2) よろず支援拠点に対する全国満足度調査結果

よろず全国本部が実施する調査では、徳島県は全国平均より高い満足度を頂いております。



3) 徳島県よろず支援拠点の相談体制強化について

これらの状況に対応するため、徳島県よろず支援拠点では相談体制を強化し、相談対応を実施しました。

① サテライト相談の増設・出張相談所の開設

金融機関・経済団体などの関係支援機関、及び市町村のご協力の元、県内各地で出張相談所を開設しております。

(開設した主な場所)

県西部県民局(毎月1回)、県南部県民局(毎月1回)、日本政策公庫徳島支店(毎月1回)、徳島駅前商店街ポッポ街(隔週日曜日)、徳島市(隔週土曜日:産業支援

交流センター・アミコビル 9F)、鳴門市(不定期:うずしお会館)、阿南市(毎月各1回:光のまちステーションプラザ、阿南商工会議所、羽ノ浦町商工会、那賀川町商工会)、小松島市(毎週木曜日:小松島商工会議所)、吉野川市(毎月1回:吉野川商工会議所)、美馬市(毎月各1回:美馬市、美馬市商工会)、三好市(毎月2回:阿波池田商工会議所)、松茂町(不定期:松茂町商工会)、中小企業家同友会事務局(不定期)



② Webサイト・SNSによる情報発信

徳島県よろず支援拠点 ホームページ



SNS



Facebook



LINE



X (Twitter)



YouTube

4) 各種制度の周知と活用支援について

① 事業承継セミナー相談会の開催

徳島県及び徳島商工会議所等と連携し、建設業界を対象にした事業承継とDXに関するセミナーを実施しました。本県は南海東南海巨大地震による地域経済に及ぼす影響が懸念されておりますが、建設業は復興に重要な役割を担う県の基幹産業であり、事業承継が最も遅れている業界であります。これまで当拠点に関わりの少なかった企業も多く参加したことで事業承継の周知が広がりました。参加者数30名(Web参加3名)



② インボイス制度導入に向けた対応について

インボイスについては、YouTube 動画を作成し基本的な知識を提供すると共に、中小企業家同友会や中小企業診断士会等の支援機関と連携したセミナー相談会を毎月開催しました。



③ 各種補助金セミナー相談会の開催

国や県の補助金制度「事業再構築補助金」、「ものづくり補助金」「小規模事業者持続化補助金」について分かりやすく解説するセミナー相談会を毎月開催しました。



5) 支援機関と連携した取り組み

① 徳島県と連携した「価格転嫁サポート」の取り組み

令和5年7月に価格転嫁サポート窓口を設置し、「価格転嫁サポート個別相談会」を8月から毎月2回定期的に開催して参加を呼びかけ、また、県商工労働観光部新未来産業課と連携して、徳島経済同友会の会員様向けにパートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性の向上に向けた勉強会を行いました。



② (公財)とくしま産業振興機構と連携した「求評会」の開催

とくしま産業振興機構が9月に開催した「セミナー+求評会」を支援した際には、バイヤーに対する商品説明のポイントや説明の仕方についてアドバイスを行い販路拡大に繋がりました。また、参加者全12名に対するアンケートで全員の方から高評価を頂きました。

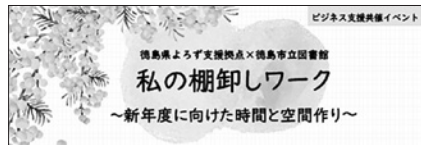
③ 徳島ビジネスチャレンジメッセで「出張相談会」

徳島ニュービジネス協議会が主催して毎年10月に実施している展示商談会に「徳島県よろず支援拠点ブース」を出展し、相談対応の実施と支援活動のPRを行いました。



④ 徳島市立「はこらいふ図書館」と連携したビジネス支援イベントを開催

3月には、何かしたいけれども日々のタスクに追われて一歩が踏み出せない創業前の方や、やることだらけの創業間もない個人事業主の方におすすめのセミナー相談会を「徳島市立はこらいふ図書館」と連携して開催しました。



6) 具体的な支援事例

① 経営改善支援

株式会社 徳水運輸

事業計画書の作成支援、金融機関との信頼構築と資金繰り改善を支援し、収益力の向上に繋がりました。



(相談者の声)

車両ごとの収支状況の把握や試算表作成をはじめ、事業計画に加えるべきことや行わなければならないアクションプラン、実施時期などを一緒に考えてくださり、感謝しています。取引金融機関にも、私の気持ちを代弁して説明いただき、信頼関係も醸成されました。今後のメルクマールになる事業計画を実行していくことに大忙しですが、引き続きよろしく申し上げます。

② 販売全力支援チームによる「展示商談会出展のススメ」

2月に開催されました第57回スーパー

マーケットトレードショー2023で、さらなる成長を志向する企業経営者と一体となって取り組んだ支援事例をYouTube 動画(14分)にまとめました。



3. まとめ

徳島県よろず支援拠点は、今後、中小企業小規模零細事業者を取り巻く社会環境が大きく変化することが予想される中、県中小企業活性化協議会、事業承継・引継ぎ支援センターの三者機関の連携をさらに強化するとともに、「働き方改革」、「人手不足対応」や、「GX、DX」など、ポストコロナに向けた様々な経営課題に関する支援機関や金融機関との連携を強化し、中小企業・小規模零細事業の経営者の皆様支援にしっかりと取り組んで参ります。皆様のご相談をお待ちしております。



よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8
徳島経済産業会館2階

よろずにゴー

電話088-676-4625

HP <https://yorozu-tokushima.go.jp/>

受付時間

【平日】9:00～17:45

【休日相談会】

●第2日曜日

10:00～17:00

徳島駅前ポポフ街

●各週土曜日(月2回)

10:15～17:00

アミコビル9F

(最新情報を確認して下さい)



価格転嫁に関する経営相談窓口を設置しております。

相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。